

## ならちゅうしん経営研究会 例会報告

### 第 323 回 研究会

**日 時** 平成 30 年 5 月 16 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分

**場 所** 奈良中央信用金庫 3 階 ホール

**講 師** 奈良工業高等専門学校  
情報工学科 准教授 上野 秀剛 氏

**テーマ** 中小企業のIT化  
~IoT, AIにつながる変化と今後~

今回の研究会は、奈良工業高等専門学校より、情報工学科准教授の上野秀剛氏を講師にお招きしまして、「中小企業のIT化~IoT, AIにつながる変化と今後~」をテーマに、ご講義を頂きました。

目まぐるしく進化しているIT革新により社会がどのように変わっていくか? 中小企業がその変化に対応していくためにIoT (もののインターネット化) やAI (人口知能) 等といった技術をどのように取り入れていけばよいか? といった内容でお話し頂きました。

上野准教授は、奈良先端科学技術大学院大学を卒業され、奈良工業高等専門学校で活躍されています。「ソフトウェア開発者の支援~開発者の行動・思考の分析~」「ソフトウェアユーザの支援~ユーザの行動・主観の分析~」を研究テーマとされています。

まず最初に「IT化」とはパソコンで仕事をするのではなく、パソコン無しには実現できないスピードや方法で情報を交換・処理して従来と違うビジネスをすることと定義されました。例えば「商品販売の自動化による高速化 (Web通販)」「工場の自動化による多品種少量生産」を実現し業務を革新することです。講義は「電子化」→「自動化」→「分析による知識獲得」→「分析の発展としてのAI、IoT」とITの活用段階を順番に、説明頂きました。

最後に中小企業経営に対するIT活用の方向性を説明頂きました。電子化を土台として業務の自動化を図り、分析を行いAI&IoT導入と発展させていきます。しかしながら、AIやIoTといった技術は導入にコストと時間が必要であることから、前段階として人間による分析やパッケージソフトを活用した自動化から始め、ノウハウや分析できるデータの蓄積が十分になってからAIやIoTを導入していくべきであるとのことでした。

以 上

